



でんとうこうげい
たいけん
**伝統工芸を
体験してみよう!**

第1回
截金
きりかね

つ
なぐ
もの

科
学

かかく

と

伝
統

でんとう

もの

もの

もの

を

- 日 時：7月18日（祝）13:00～16:30
- 場 所：京都大学総合博物館 セミナー室
- 対 象：小学4年生～中学3年生（定員20名）
（保護者、引率教員の方の見学可）



京都市バス“百万遍（ひやくまんべん）”下車徒歩約2分
京阪電鉄“出町柳（でまちやなぎ）”駅下車徒歩約15分
*入口は、東大路通りに面しています



■截金（きりかね）は、金箔を数枚焼き合わせて細く直線状に切ったものを、筆と接着剤を用いて貼りつけることによって美しい文様を表現する伝統的な技法です。

日本では、特に仏像・仏画の衣や装身具を装飾するためにさまざまな文様が発達してきました。

現代では仏像や仏画だけでなく工芸品として利用されることも多く、伝統産業として京の手しごと工芸品に認定されています。



■参加お申し込み：電子メール、FAX、または往復葉書に次の内容をご記入の上、お申し込みください。

- (1) 氏名（フリガナ） (2) 学校名 (3) 学年 (4) 性別
- (5) 連絡先ご住所・TEL (6) 保護者・引率教員同伴の有無

■お申し込み先：京都大学大学院理学研究科 社会連携室

E-mail dento@cr.sci.kyoto-u.ac.jp

FAX：075-753-3645

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

■申し込み締め切り：2011年7月14日（木）

■お問い合わせ先：京都大学大学院理学研究科 社会連携室 TEL: 075-753-3640 FAX: 075-753-3645 Email dento@cr.sci.kyoto-u.ac.jp

■主催：京都大学大学院理学研究科 共催：京都府教育委員会、京都大学総合博物館

※本事業は、JST 科学コミュニケーション連携推進事業「機関活動支援」（機関連携型）の支援を受けて行われます。

科学と伝統ものづくりをつなぐもの 第1回 (7月18日) 参加申込書

参加は無料です

● 必要事項 (1) ~ (6) をご記入の上、以下のいずれかの方法で7月14日 (木) までにお申し込みください。

(1) 氏名 (フリガナ) (2) 学校名 (3) 学年 (4) 性別 (5) 連絡先ご住所・TEL (6) 保護者・引率教員同伴の有無

< FAX > 下記に必要事項をご記入の上、**FAX : 075-753-3645** あて送信してください。
複数でお申し込みの場合は、お手数ですが本申込書をコピーしてご利用くださいませ。

< 電子メール > **dento@cr.sci.kyoto-u.ac.jp** あて

< 往復はがき > 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科 社会連携室あて

※は必須項目ですので、必ずご記入ください

※フリガナ	※学校名	※
※氏名 (男・女)		() 学年
※自宅住所 (〒 -)		
※TEL E-mail	FAX	
※保護者ご同伴 (あり・なし)		

■タイムスケジュール

- 13:00 ~ 13:15 開会の挨拶 (京都大学総合博物館 館長 教授 大野 照文)
- 13:15 ~ 13:45 伝統ものづくりでの金箔の説明
(講師：京都大学大学院理学研究科 研究員 常見 俊直)
- 13:45 ~ 14:30 金 (きん) をつけた伝統ものづくり実演・実習
(截金師：京都造形芸術大学 非常勤講師 池田 香那弥)
- 14:30 ~ 14:45 - 休憩 -
- 14:45 ~ 15:30 講義および実験・実習。科学への一般的な導入。
光の性質など。(講師：京都大学大学院理学研究科 研究員 常見 俊直)
- 15:30 ~ 15:45 - 休憩 -
- 15:45 ~ 16:30 講義および実験・実習。金箔が原子が数千個分の厚さであることを通して、
物質の最小構成要素の大きさがどのくらいであるのかにせまる。
(講師：京都大学大学院理学研究科 研究員 常見 俊直)